

南部合唱団 創立55周年記念音楽会

春よ来い

— 憲法が輝く社会へ —

2013年12月11日(水)

開場 18:30 開演 19:00

会場 きゅりあん大ホール



Greetings

本日は南部合唱団創立 55 周年記念音楽会「春よ来い ー憲法が輝く社会へー」へご来場頂きましてありがとうございます。

南部合唱団は、1958年11月に誕生し、以来55年という長い歴史の中で、時には解散の危機を乗り越えながらも、南部の労働者の皆さんや地域の皆さんに支えられ、今日まで歌い続けてくることが出来ました。今日は感謝の思いをこめて演奏いたします。

春まだ浅い3月に起きた東日本大震災から間もなく3年が経とうとしています。しかし復興は遅々として進まず、特に福島県は、津波と原発事故で故郷を奪われたままです。ブラック企業が横行し、年金の切り下げや消費税の増税はますます私たちの暮らしを圧迫します。人間として生き生きと働き、当たり前前の生活をしたいという願いが踏みにじられています。そして今、安倍内閣は、秘密保護法案をはじめ、日本国憲法を変えて再び戦争が出来る国にしようとしています。私たちの生活は全て憲法によって保障されています。今こそ日本国憲法を守り、憲法の精神を輝かせる時です。沢山の仲間としっかりと心を繋ぎ合って声を挙げていかなければならない時です。「被災地の春も、私たちの未来もこの手でつかみ取る」決意をこめ今日の音楽会を準備しました。

本日の音楽会が、平和で豊かな日本になるようお願い、そして明日を生き抜く勇氣に繋がればと思っております。

最後になりましたが、安達陽一先生はじめ、この音楽会の成功のためにご尽力を頂きました専門家の皆様、またチケットを広めて下さった皆様に心より御礼申し上げます。

私たちは、これからもこの南部の地にしっかりと根をはって歌い続けてゆきます。今後ともご指導、ご協力のほどよろしくお願い致します。

南部合唱団 団長 大井かつ江
団員一同

南部合唱団「友の会」

顧問 猿渡盛之

南部合唱団が国鉄大井工場のピアノ室で産声をあげてから55年が経ちました。南部合唱団は、常に南部の働く人たちの闘いとともにもありました。国鉄ストの電車の前で肩を組んで歌ったこと、また芝信用金庫の闘いを歌舞劇にして演じたこと。更に羽田の歴史をカンタータにし歌い上げたこと等、多くの事柄がそれを物語っています。今回、創立55周年記念音楽会「春よ来い」が公演されることに新たな感激を覚えます。改めて思うことは、南部合唱団のテーマは創立以来一貫しているということです。平和と憲法を守り、働くものと進歩の側において歌い続け創り続けていることです。それがいつの時代も若い人たちによって受け継がれていることです。合唱団の音楽が、新たな感動を生きる力を生み出すことを期待しています。

南部合唱団「友の会」

会長 酒井英夫

南部合唱団創立55周年おめでとうございます。またひとつ節目の年を迎えましたね。

今、日本の政治は、国民の意に反して、どんどん右よりの政治が続いています。働くルールが無視され暮らしが良くならない状況に、先の選挙で国民はひとつの意思表示をしました。世論は確かに正しい方向に動いているのです。

今こそ合唱団の出番です。平和で豊かな暮らしのために、労働者が生き甲斐をもって働けるように、日々の演奏やうたう会などを通して闘いを励ましてください。「友の会」はそんな南部合唱団を応援します。益々の発展を期待します。

日本のうたごえ全国協議会 会長 西 恒人

南部合唱団創立55周年記念音楽会のご開催おめでとうございます。

うたごえ運動の重要な一翼を担って、南部地域のうたごえの前進のために奮闘されている貴合唱団に心からの敬意を表する次第です。

今年は、うたごえ運動がその産声をあげて65年、また運動の創始者である関鑑子さん没40年という、一つの大事な節目の年があります。そして、東日本大震災と福島原発事故から3年を迎えようとしている今、被災地に心よせる支援の輪と「原発をなくそう」の声を広げ、憲法をまもれ、暮らしやいのちをまもれと、私たちはもっと音楽を輝かせ心を繋いでいかねばなりません。こうした時代に、「憲法が輝く社会へ」のタイトルを高く掲げて記念音楽会を開催される皆さんに、心からの大きな拍手を贈るものです。

うたごえ70周年に向かって、平和の力・生きる力となる音楽をさらに豊かに響かせていただく事を心より願いメッセージとさせていただきます。

東京のうたごえ協議会 会長 轟志保子

南部合唱団創立55周年記念音楽会の開催、おめでとうございます。

うたごえ運動は今年で65周年の節目を迎えました。今回の音楽会サブタイトルに「憲法が輝く社会へ」とありますが、うたごえ運動の理念と足跡は、まさに憲法のころだと思えます。誰もが人間として持っている尊厳が大切にされ、戦争で傷つけあうことなく平和に生きる時代を希求して、65年間数々の歌を創り、多くのおみなさんとともに歌ってきました。人間らしく働き生きることすら疎外される状況がうずまき、言論や表現の自由を妨げる策動も行われている今、うたごえが担う役割の大事さをあらためて感じています。

今日の音楽会では、日頃から地元の労働組合のおみなさんや、争議団の方々とともに熱く歌ってきた南部合唱団ならではの力強い歌唱で、時代を切りひらくパワーを届けてくれることでしょう。ともに歌う豊かな楽しさと、憲法のころを貫く活動でいっそう多くの方々に魅了し、団が発展されることを祈念いたします。

JAL 不当解雇撤回裁判原告団 乗員団長 山口宏弥 客乗団長 内田妙子



南部合唱団の皆さま、音楽会の開催おめでとうございます。また、日ごろからJAL 不当解雇撤回裁判原告団と合唱団フェニックスを支えていただきまして、ありがとうございます。

解雇撤回争議を支援する「あの空へ帰ろう」は、全国のおみなさんに育てられ私たちの勇気となり、そして運動の原点となりました。また、新曲の「誇りある道」は、解雇撤回への進むべき針路を与えています。こうして、うたの力は私たちの闘いのエネルギーともなっています。

私たちの高裁での闘いも、12月に結審を迎え、来春には判決の見込みです。必ず地裁の不当判決を覆し、職場に戻ります。これからもうたごえの皆さまと共に、解雇自由な社会を許さず、明るく楽しく働ける社会をめざしてまいります。ご支援よろしく願いいたします。

品川区職員労働組合 執行委員長 木下伸子

嬉しい時につい口ずさみ

悲しい時に励まされ

疲れた時に癒され

闘う時は心奮い立たせる

日々の暮らしにいつも寄り添ってるのが、音楽です。

それは、あたかも太陽のように、私たちに光と熱をもたらしてくれます。

ブラック企業などに代表されるように、働く者の人権が侵害されている現在、心に歌声を失ってしまった人々が多いのではないのでしょうか。

そんな中、長年にわたり歌声を紡いで来られた南部合唱団の皆様は、敬意を表します。

今回は、『被災地に「春よ来い」』と題して、被災地に思いを馳せると共に、「憲法九条」「憲法前文」も歌われるとのこと。

「歌声は平和の力」の言葉通り、皆様の歌声が響き渡り、一人でも多くの働く仲間へ届くことを、心より期待しています。

大田区労働組合協議会 議長 星野 透

南部合唱団創立55周年記念音楽会開催、おめでとうございます。

日頃から、大田区労協の集会や集いに参加され、うたごえを響かせている、ことに心から敬意を表します。

55周年といいますが、1958年（昭和33年）に産声をあげ、南部の地でうたごえ運動を続けてこられたのですね。

労働者の闘いの中にいつもうたごえがありました。働く者や庶民の中にしっかりと根をはって、活動されてこられたことに拍手を送ります。

今日、東日本大震災と福島原発事故は依然として苦難の日々です。また、働く者がモノのように働かされ、JAL や IBM のように企業の都合で簡単に首を切られる。若者の半数が正社員の道が閉ざされている。戦争への道を走ろうという危険な動きもあります。叫びたくなることばかりです。南部合唱団のおみなさんが、これからもうたごえで勇気とはげまし、安らぎををあたえ続けてください。

音楽会が大成功されることを祈念いたします。

目黒地区労働組合協議会 議長 橋本策也

南部合唱団55周年おめでとうございます。

東京南部は働く者の街、中小の機械や電機工場の仲間が、会社の中だけでなく地域で結びついて暮らし、闘ってきた街です。目黒地区労もずーとその中で、南部合唱団とともに笑い、泣き、歌い、活動してきました。いつも旗びらき、争議支援集会など合唱団に参加いただき、励まされてきました。今も昔も「お金」はない目黒地区労ですが、声援だけは送り続けますので、これからもよろしく！

Program

第 1 部

うたごえよ明日のために

作詞 片羽登呂平
作曲 林 光
伴奏編曲 中瀬千央

春よ、来い

作詞・作曲 松任谷由実
編曲 今村 康

津軽平野 (男声合唱)

作詞・作曲 吉 幾三
編曲 小林康浩

わらびがみ

童 神~天の子守唄~ (女声合唱)

作詞 古謝美佐子
作曲 佐原一哉
編曲 森 知紀
補編曲 吉田桂子

わが大地のうた

作詞 笠木 透
作曲 田口正和
編曲 赤堀文雄
伴奏編曲 中瀬千央

重なり合う手と手

詩 和合亮一
作詞・作曲 新実徳英

見上げてごらん夜の星を

作詞 永 六輔
作曲 いずみたく
編曲 信長貴富

シングアウト (会場のみなさんと一緒に)

太鼓 花筐 (はながたみ)

作曲 玉村 武

第 2 部

人間として労働者として

作詞 岡田 尚
作曲 たかだりゅうじ
伴奏編曲 中瀬千央

南部地域の仲間と共に

・誇りある道

作詞 飯田雄三 (JAL 原告団)
補作詞 石黒真知子・南部合唱団
作曲 小島啓介
編曲 安達陽一

・生きる

作詞 谷川俊太郎
作曲 武 義和

日本国憲法前文

作曲 きたがわてつ・にしむらよしあき・鈴木泉
編曲 高橋喜治

混声合唱のための組曲

「そして一輪の花のほかは…」

「あたらしい憲法のはなし」より

日本国憲法第九条

作曲 外山雄三

原爆を許すまじ

作詞 浅田石二
作曲 木下航二
編曲 高橋喜治

樹があるかぎり

作詞 小森香子
作曲 小島啓介
編曲 赤堀文雄

Profile

安達 陽一 (あだちよういち:指揮)

武蔵野音楽大学卒業後、オランダ・アムステルダムのスヴェーリンク音楽院合唱指揮科に2年間留学する。指揮法を Daniel Reuss、ルネッサンス音楽を Paul van Nevel、合唱指揮を関屋晋氏に師事。96、97年オランダのユトレヒトで行われたサマーセミナー「Kurt Thomas Cursus」に参加し、クロージングコンサートの出演指揮者に選ばれ、オランダにおいてラジオ放送される。帰国後、99年6月にフィンランド・タンペレにて行われた「International Choir Festival」において、東京女声合唱団と共に参加し金賞を受賞。99年7月にはオランダ・ロッテルダムに於いて「Cappella Amsterdam」を指揮、バッハを演奏し好評を博した。2000年9月にはスペイン・バルセロナで行われた「Folk Songs Festival」に東京女声合唱団と共に参加し銀賞を受賞。03年には函館市主催の「廣瀬量平合唱の夕べ」において女声合唱を担当、指揮する。05年8月京都に於ける世界合唱シンポジウムのオープンシンギングの講師を務める。10年4月クロアチア合唱指揮者協会主催のシンポジウムの講師を務める。現在、Fontana di Musica を主宰。南部合唱団をはじめ関東を中心に活動する傍ら、朝日カルチャー（新宿）に於いて女声合唱の講師も務める。日本合唱指揮者協会会員。

中瀬 千央 (なかせちお:ピアニスト)

東京音楽大学、同大学院卒業。第5回ヤングアーティストコンクール連弾の部銀賞、第22回PTNAピアノコンペティションデュオ部門全国大会決勝特級入賞。ピアノを小高明子氏に、作曲を糀場富美子氏に、声楽を市川倫子氏に師事。川崎市民ミュージアムにてシャガール展のプロムナードコンサート、品川区主催成人式コンサート等に出演。ソロ、伴奏の他、連弾などのアンサンブルの演奏活動も行っている。白梅学園大学及び白梅学園短期大学、東京音楽大学付属高校、弥栄高校講師。日本ソルフェージュ研究協議会会員。

松尾 信彦 (まつおのぶひこ:日本国憲法前文朗読)

劇団新制作座、劇団統一劇場にて俳優。うたごえ、南部合唱団、中央合唱団、音楽センターとのつながりは長い。出版社で絵本、児童文学などの普及に携わる。目黒区在住。大岡山憲法を考える会所属。

原 昭二 (はらしょうじ:舞台監督、制作協力)

1980年代より、加藤登紀子、もんたよしのり、宮本信子等のコンサートの舞台監督、また、各種音楽祭、イベント等のプロデュースのアシスタント及び舞台監督を務める。音楽イベントのみならず、クラシックコンサート、ミュージカル、映画祭、ダンスイベント、お笑いイベントまで幅広く活躍中。

Performer & Staff

ソプラノ

加山明美 瀧口ふみ子
竹崎喜美恵 田中紀子
伊藤絹江 藤井静子
安藤美津子 望月清子
大寿美幸子 山本愛子
岡安靖子 行元カツ子
金子典子 横田信子
関 匡子 横田美菜

アルト

本間紀子 大井かつ江
川上睦美 佐藤光子
下川未代 橋口サナエ
佐藤久美子 堀江恵子

テノール

小島啓介 阿部隆司
首藤甲二 田嶋勝雄
堀江和雄

バス

三浦 敦 竹岡敏雄
加山 忠 川上泰彦
共田鍾貴 森田 勇

和太鼓南舞

小島啓介 竹崎喜美恵
田中紀子 佐藤光子
森田 勇 大井かつ江
松谷尚樹

和太鼓指導

田中喜治
(輪田鼓)

スタッフ

制作 南部合唱団
制作協力・舞台監督 原 昭二
音響・照明 クレイフィールド

南部地域のみなさん

品川コーラス たんぽぽ
国鉄のうたごえサークル 三楽
JAL 原告団 合唱団フェニックス 他

Program Note



うたごえよ明日のために

うたごえ運動草創期のみずみずしい感性と、運動への確信に根ざし、うたごえ運動のあるべき姿を高らかに歌い上げている。うたごえ 65 周年、改めて決意をこめて歌う。



春よ、来い

同名のNHK朝の連続テレビ小説主題歌。小学校や中学校の卒業式の歌としても人気がある。東日本大震災の復興を願い、また私たちの豊かな未来（春）が一日も早くくると今回の音楽会のテーマとした。



津軽平野

吉幾三が千昌夫に贈った曲。吉は青森の北津軽郡（現 五所川原市）金木町、千昌夫は岩手の陸前高田の出身で、共に北国の出身。寒い冬が過ぎ、春になれば土産をいっぱい抱えた父親が出稼ぎから帰って来る。待ち遠しい春と、出稼ぎから戻ってくる父親（おどろ）を迎える家族のわくわくした気持を歌にした。



童神

『童神（わらびがみ）』は、沖縄音楽を代表する女性歌手、古謝美佐子（こじゃ みさこ）の沖縄風歌曲。歌詞では、生まれて間もない赤子をあやす母親の温かく包容力あふれる大らかな愛が描かれている。



重なり合う手と手

東日本大震災で被災した福島県在住の詩人・和合亮一が震災の翌週から「ツイッター」で作品（自ら「詩の隙」と命名）の発信を続けて大きな話題になった。作曲家自ら「つぶてソング」と名づけて「歌」の連作を始め、全 12 曲の歌が一気に連作された。震災や原発事故への怒りや喪失感、生への問い掛けなどの思いが込められている。



和太鼓「花がたみ」

北陸・福井県今立町（現・越前市）の有名な太鼓である「権兵衛太鼓」保存会会長玉村武氏の作調。「花筐」は、地元の岡神社から西1キロほどの皇谷山中腹の薄墨桜の傍らにある花筐神社に因んでいる。



人間として労働者として

国鉄の不当労働行為事件でもその弁護団活動の先頭に立つ岡田尚弁護士が、国鉄労働者の闘いに思いを込め、暖かい愛情と激励の意を込めて書いた。人間として労働者として生きることの難しい時代。しかし今それを貫いて生きていくことが本当の人間の生き方であろう。



誇りある道

JAL 原告団支援ソングとして「あの空へ帰ろう」が各地で歌われているが、「誇りある道」は「あの空へ・・・」に続く歌として創作した。原告団の飯田雄三さんの詩に団員の小島啓介が作曲した。JALだけにとどまらない、闘う全ての労働者にとの思いがこめられている。



原爆を許すまじ

南部地域で生まれ広がった曲。作詞の浅田石二さんが、当時友人を介して知り合った大森海岸で「わかたけ会」を指導していた木下航二さんから「反原爆」の詩がないかと提案され、三編書いて渡したうちの一遍。



樹があるかぎり

南部合唱団音楽会「愛 生まれ来る子供たちのために」のために、4曲の創作曲を作った内の1曲。創作当時、小森香子さんに作詞を依頼するにあたり、「樹」を平和の象徴として詞にして頂いた。

♪歌の好きなあなた!一緒に歌いませんか♪

南部合唱団

★ 団員募集 ★

見学いつでも大歓迎!

練習日◆毎週金曜日 18:30～21:30
場 所◆品川区立旗の台文化センター
連絡先◆大井かつ江 090-3961-1153
加山 明美 080-5453-5564

友の会会員も受付中

(年会費 1,000 円・毎月団の機関紙を送ります)
<http://nanbu-utagoe.net>

南部合唱団

和太鼓 南舞 会員募集

初心者大歓迎!

♪子どもから大人まで楽しめます♪
ぜひ、一度見学に来てください。

練習日◆毎週木曜日 19:00～21:30
場 所◆世田谷区立尾山台地区会館
連絡先◆小島啓介 090-3682-2494





大塚うたごえ酒場

企画『闘うわれら』

12月13日(金) 18:30~東京労働会館 ラパスホール
入場料500円 連絡先 公共一般労組 うたごえ係 TEL. 5395-5255

インターネットでも平和のうたごえを

ヴァーチャルうたごえ喫茶のび

<http://www.utagoekissa.com>

割烹



松島

旨いお酒と美味しい料理!!
どうぞお気軽にお越しください

品川区旗の台 3-12-5
TEL. 03-3781-5087

1995年から戦後50年以来、
品川から平和を発信しています。
今年で19年目を迎えます。

品川ピースフォーラム

代表 増田 勉

国鉄のうたごえ「三楽」

サークル員募集中!!

みんなで歌って遊んで飲んで三つ以上の楽しい事を!
連絡先 千葉智美 090-9341-3971
高瀬弘人 090-6508-3154

栄養のバランスよいお弁当!

はじめ亭

〒146-0083 大田区千鳥1-16-17 TEL. 03-3753-4288

いけばな小原流 千草会

望月遊亀

稽古日◆品川区中小企業センター:第2・4火曜日
◆自宅:第3火曜日、第2・4金曜日
〒213-0033 川崎市高津区下作延 2-12-30
TEL.044-888-3450

ピアノ・声楽・ソルフェージュ

中瀬音楽教室

初めての方でも大丈夫です。お気軽にご連絡下さい。
TEL. FAX. 03-3775-3022
E-Mail: ezz06124@yahoo.co.jp

麺屋 ぽんりく

営業時間 11:30-21:00 休憩なしの通し営業
ラストオーダーは閉店15分前
火曜定休
〒142-0041 品川区戸越5-19-2 戸越公園駅前ビル内
(東急大井町線戸越公園駅下車0分)
TEL&FAX 03-3785-5815 URL <http://harunire.elm-ac.jp>

大型機械加工・ステンレス部品・製作等 大洋機械株式会社

会長 猪狩 洋

〒143-0002 大田区城南島2-3-9
TEL.3790-8411 FAX.3790-8415

金型加工 (有)菅沼金型製作所

代表取締役 菅沼栄二
大田区南六郷2-36-4
TEL. 03-3738-3159

大田区内に三民商 中小企業の営業とくらしのサポーター 大田民主商工会 蒲田民主商工会 雪谷民主商工会

大田区中央2-9-15
TEL. 03-3774-4021

大田区蒲田5-44-14
TEL. 03-3734-1101

大田区雪谷大塚町117-10
TEL. 03-3726-7471

経営全般のご相談は

品川民主商工会

03-3491-4535

自動車販売(新車・中古)・修理・自動車保険 城南自動車サービス(有)

目黒区目黒本町4-19-2
TEL. 03-3793-2330

一般旋盤加工 高橋製作所

代表取締役 高橋勝二
大田区本羽田1-5-4
TEL. 03-3744-2736

工場、病院などの施設保守管理業務

有限会社稗田工業

〒146-0091 大田区鶴の木 2-47-14
TEL. 03-3750-1680
携帯 090-9000-6170

美しい日本語を大切に 株式会社 佐々木印刷

大田区多摩川 1-18-15
TEL. 03-3758-0710 FAX. 03-3758-2821

★きらきら保育園

産休明けから2歳児までの保育です
東京都認可保育所
〒146-0083 東京都大田区千鳥2-3-20
TEL.3750-6395

各種記録計・検塩計・CO2H2 ガス計測器・温度センサー
精密計器 株式会社 理化電機
営業部:〒152-0031 目黒区中根 2-10-12 プラザハイム都立大 206
TEL.03-3724-5412 FAX.03-3725-1084
工場:〒143-0024 大田区中央 8-16-12
TEL.03-3754-6981 FAX.03-3754-9136

東京南部法律事務所

〒144-8570 東京都大田区蒲田 5-15-8
蒲田月村ビル4F
TEL.03-3736-1141 FAX.03-3734-1584
<http://www.nanbu-law.gr.jp>
ご相談はご予約をお願いします

大幅増員と夜勤改善で
安全・安心の医療・介護の実現
東京民医労 南部医療支部
執行委員長 金子菊代
大田区大森東4-3-3 TEL. 3765-6650

城南保健生活協同組合

大田区大森東4-6-15-101
TEL. 3762-0266 FAX. 3762-0239

介護の相談は
お気軽に...
すずらん平和島 3762-0106
すずらんゆたか 5498-5195
すずらん馬込 5743-5452

東京南部生協労働組合

東京都大田区池上2-14-7
TEL.03-5747-1611

目黒医療生活協同組合

上目黒診療所 (デイサービス併設) TEL.03-3751-2271
目黒区上目黒 4-4-21
西小山診療所 (デイサービス併設) TEL.03-3715-9141
目黒区目黒本町 6-6-8

くらしと福祉・教育のあらゆる相談は 大田生活と健康を守る会

大田区大森東4-4-11
TEL. 3763-1979 FAX. 3763-1958

“社会保障の充実で安心の医療・介護を” 神奈川県民主医療機関連合会

会長 堀内静夫
TEL.045-320-6371

平和通り訪問看護ステーション TEL.3715-2563
蛇崩訪問看護ステーション TEL.5725-0370
ヘルパーステーション目黒医療生協 TEL.5768-1344
ヘルパーステーション目黒医療生協北部 TEL.5725-3458
ヘルプケア目黒医療生協(ケアプラン作成) TEL.3715-9141



<p>平和と子どものしあわせを願って 新日本婦人の会大田支部 大田区多摩川1-18-5-302 TEL.3759-4727 FAX.3579-4720</p>	<p>国連NGOの女性ネットワーク 新日本婦人の会品川支部 〒142-0064 品川区旗の台4-4-18 中島荘 TEL. 03-3787-5188</p>	<p>輝け憲法!! はばたけ新婦人 新日本婦人の会 目黒支部 支部長 松尾佐知子 〒153-0065 目黒区中町2-30-10 TEL&FAX 03-3714-5769</p>
<p>年金引下げを許さず、「不服審査請求」を全国から 全日本年金者組合品川支部 執行委員長 中臺誠一 〒140-0004 品川区南品川1-6-9 TEL.03-3471-8834</p>	<p>歌も、踊りも大好き 高齢者のよりどころ 年金者組合大田支部 支部長 渋谷 要 大森西5-10-29 工藤方</p>	<p>年金引下げに反対を! 東京年金者合唱団 団員募集中 03-3986-8566</p>
<p>自交総連東京地連 高砂自動車労働組合 執行委員長 柿沼 勝廣 組合事務所：東京都目黒区目黒1-24-2 TEL. FAX. 3493-7910</p>		<p>憲法9条は世界の宝 憲法9条・大田女性の会 事務局：大田区大森西5-13-15 金子典子方 TEL. /FAX. 03-3766-8610</p>
<p>大田区職員労働組合 執行委員長 西嶋和徳 組合事務所 東京都大田区蒲田 5-13-14 大田区役所本庁舎9F TEL. 5744-1419 FAX. 5744-1548</p>	<p>品川区職員労働組合 執行委員長 木下伸子 組合事務所 東京都品川区広町2-1-36 TEL. 3773-6705 FAX. 3773-6714</p>	<p>目黒区労働組合総連合 議長 片岡 敏康 〒153-0065 目黒区中町2-30-10 TEL/FAX 3792-0175</p>
<p>工場省力化の相談をどうぞ 製品開発をサポートします メカトロニクスの技術でサポートする 株式会社 サヤ力 〒143-0002 大田区城南島 2-3-3 TEL. 3790-8911 FAX. 3790-8917</p>		<p>一人でも誰でも入れる 労働相談・組合作りは 渋谷区労働組合総連合 〒151-0051 渋谷区千駄ヶ谷5-16-10 代々木エアハイツ504 あかつき印刷労組気付 TEL/FAX.03-3356-4755</p>
<p>目黒区職員労働組合 委員長 渡部 公一 組合事務所：東京都目黒区上目黒2-19-15 TEL. 3713-7097 FAX. 3713-8599</p>		<p>品川地区労働組合協議会 議長 池野 隆 〒141-0032 東京都品川区大崎 2-7-5 TEL. 03-3491-9242 FAX. 03-3493-2428</p>
<p>世田谷区職員労働組合 執行委員長 工藤 長治 組合事務所：東京都世田谷区世田谷4-21-27 TEL. 3413-2767 FAX. 3413-5127</p>		<p>働く者の地位の向上めざしてみんなで頑張っています 大田区労働組合協議会 (略称：大田区労協) 大田区蒲田 5-36-3 相互蒲田ビル 805 TEL. 03-3731-1261</p>
<p>建設産業で働く仲間をサポート 住まいのことなら、なんでも相談ください。 東京土建 目黒支部 〒152-0002 東京都目黒区目黒本町1-10-26 TEL.03-3719-2471 FAX.03-3719-2743</p>	<p>快適な暮らしは畳から 関口畳店 〒142-0042 品川区豊町 6-12-4 TEL. 090-3962-0080</p>	<p>日本国民救援会品川支部は 言論、表現の自由を守る! 無実の人々を救う! 労働者の権利を守るなど 草の根から人権を守る活動を進めています。 品川区大井 2-13-9 TEL.080-3394-7703</p>
<p>JAL原告団を応援する キャプテンKB </p>	<p>新築・増築・マンション改装・修理工事 サンハウス建設 目黒区目黒本町5-8-13 TEL. 03-3714-5621</p>	<p>喜ばれる住まいづくりのお手伝い 注文建築・増築・リフォームのおすすめ 新大田建設業組合 大田区中央2-9-15 TEL. 3773-4454 FAX. 3771-0928</p>
<p>JAL 不当解雇撤回、 皆さんと一緒に頑張ります!</p>	<p>世界の変化を学んで日本を変えよう! あなたも AALA (日本アジア・アフリカ・ラテンアメリカ) 連帯委員会 に入会してください。(月 750 円) 品川 AALA 事務局長 長沢 伸彦</p>	<p>音楽は心のときめき 文化は生きる糧 うたごえ新聞を読みましょう 月額 775 円 (郵送料込) 月 4 回発行 お申し込みは南部合唱団・大井まで (090-3961-1153)</p>